



第7回とよなかエコ市民賞 2013 の受賞について

大阪国際空港(ITM)では、刈草を活用した「人と環境にやさしい空港」をめざした「環境先進空港」としてのさまざまな取り組みが高く評価され、『第7回とよなかエコ市民賞 2013』を受賞しました。

今後も、空港周辺地域や就航都市の方々との連携活動など空港ならではの取り組みを継続して参ります。

記

○ とよなかエコ市民賞の概要

主 催 とよなか市民環境会議

※ 「とよなか市民環境会議」(会長:豊中市長、140 団体)は、環境問題に取り組む市民、事業者、行政のパートナーシップ組織とし 1996 年 5 月に発足

基 準 豊中市内での環境負荷の低減や、自然との共生、快適環境の創造などの取り組みの中から、継続した活動実績があり、特に顕著な功績が認められる団体を表彰

受賞式 2014 年 2 月 16 日(日) 豊中市立環境交流センター

※ 2013 年度は、5 団体が受賞

【とよなかエコ市民賞 HP】

<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/kankyoseisaku/shiminkankyokatsudo/ecoshimin/index.html>



浅利豊中市長から表彰



KIX20th ITM75th



○ 受賞の概要

活動内容 「雑草一転、空港肥やせ！」

活動概要 伊丹空港(大阪国際空港)内の広大な着陸帯(緑地帯)で発生する刈草の焼却処分量を減らすことに挑戦し、試行錯誤を重ね、刈草を飼料化及び肥料化することに成功した。現在も環境先進空港として、環境対策や地域共生を推進。



ITM そら農園 (肥料利用)



地元小学生等をお招きしたイベント
おいも掘り (定期開催)



地元高校との連携活動(肥料利用)
バタフライガーデン及びフラワーキャンパス



就航都市との連携活動(肥料利用)
えらぶゆり



奈良公園の鹿
牧場等への無償提供(飼料利用)



周辺地元学校等への無償提供(肥料利用)

